

進捗報告書（実行団体）

事業名:	YELLFOR地域・若者応援プロジェクト
資金分配団体:	一般財団法人リープ共創基金
実行団体名:	特定非営利活動法人 学生人材バンク
実施時期:	2021年2月～2022年1月
事業対象地域:	鳥取県
事業対象者:	①大学生②子育て中の女性を中心とした若者

Version 1.2

日付: 2021年8月1日

I. 事業概要

事業概要
①地域課題リサーチプロジェクト NPOや自治体が取り組む既存事業や新たな事業領域に対する調査業務を受託し、リサーチ、ヒアリング、アンケート設計・分析業務など若者向けの雇用を創出する。
②在宅ワークプログラム 中小企業を中心にコア業務以外の仕事（メディア運用、SNS運用、簡易事務など）を切り出し、研修を受けた若者が実施する。

II. 進捗報告の概要

総括
参加者広報や企業開拓、参加後のプログラム運営はおおよそ計画通り進んでいます。別途記載している通り、個別支援が手厚く必要な方への支援体制をどうするか、またこの就業モデルを地域内で育むため、事業者、行政、支援機関等に対して提案を行い、共感者を増やしていく活動を重点的に実施したいと考えています。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①社会的な事業を行う団体に大学生が就業するプログラムが整備される ②当事業に共感して自社のコア業務以外の業務を発注する企業がある ③地域事業者内にオンラインとオフラインを融合した就業環境が整備される ④事業参加者がICTを活用した在宅ワーク・PC実務のスキルを習得する ⑤事業参加者が報酬を得ることで、生活基盤（衣食住）が安定し、将来に向けた希望が持っている ⑥報酬を支給する ⑦事業参加者が職を得ることができる	①②高齢者支援や地域づくり、居場所づくりを行う団体などと協力し、アンケート調査設計やWebコンテンツづくりに大学生や主婦等の社会人が参加するプログラム環境が整備されている。（プログラム数12、参加者数16） ③地域事業者にSlackやZoom会議の実施を導入している。またリモートデスクトップなど、セキュリティ対策をしながら業務をリモート対応できる就業環境を整備している。 ④⑤⑥参加者は在宅ワーク未経験でPCにも強く無いが、約1週間の基礎研修（ITツールやリモート環境下での働き方）により家庭事情による参加保留を除き離脱者は出ていない。『共同行為における自己実現の段階モデル』を6ヶ月のうち、1ヶ月目は「参加・所属」、2～3ヶ月目は「周辺の役割行動」、4～6ヶ月目は「主体的活動」期間と設定し、個別事情をみながらプログラム内での役割や業務設計をすることで学習促進をはかっている。 ⑦早い参加者で9月中旬に6ヶ月を迎える。期間中に培った業務経験を活かした就業先の具体的な確保や就労が困難に感じる方（介護を担う若者ケアラーや手帳取得者など）に対して他団体と連携した出口支援を行うことが今後の課題です。

活動	進捗状況	概要
・参加者広報 ・企業開拓 ・プログラム整備	計画通り	・鳥取県内の若者サポートステーションと2021年1月より連携に向けた打合せを行い、本プログラムに2名の相談者を紹介・5月より2名がプログラムに参加しています。大学の地域連携窓口や先生からの口コミにより、生活に困る大学生へも情報が届いています。 ・3月、4月には企業向けの説明会も開催し、鳥取県内から8社の依頼を受けています。 ・Webコンテンツ制作、wordpress入稿、バナー制作、動画制作など地域企業から依頼を受ける業務を参加者の習熟度に応じて実施できるよう、研修、業務配分、フォローサポートを実施しています。記事制作ではまず「タイピング練習」からはじまり、「音声の文字起こし」、「文字起こし内容の文章化」と業務を細分化することで習熟度に応じた割振りとしスキル獲得をはかっています。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>当初の目標では 地域内の新たな就業のあり方として受け入れられ、自主や別財源により年間を通じ20名の受け入れができていた状態を掲げていました。本事業が地域企業にとっても「コロナ禍の攻めの一手」としてNHKや日本海テレビなど地元メディアにも取り上げられ鳥取県内企業からは8社から依頼を受けています。過去の当団体の繋がりがやプログラムの反響をもとに周辺企業より依頼が届き、少しずつ波及しています。一方で参加者の中には障害や家庭内の介護などを抱えているケースがあり、自団体単独での支援に限界があります。既に連携しているサポステ以外に、介護の専門家、公的窓口、民間企業とどのような連携が可能か？を模索しています。また1年以降の運営継続に向け、どのような事業モデルが成立しうるかを中間地点以降は具体的に検証していきます。</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥790,000	¥9,913,000	¥10,703,000	¥2,372,665	22%
	管理的経費	¥314,800	¥1,376,000	¥1,690,800	¥516,496	31%
合計		¥1,104,800	¥11,289,000	¥12,393,800	¥2,889,161	23%
補足説明						

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>■参加者対応</p> <p>参加者の中には障害や家庭内の介護を抱えているケースがあり、介護支援の専門家にも繋ぎ、出口に向けた関わり方を検討しています。参加者の個別事情に対して、どのように外部・専門機関と連携して対応するか、情報共有や相談の接続をどのようにするかが向き合う課題です。自分一人、家族だけで問題を抱えている状況も多く、まずは弊社以外にも「相談できる場所」をつくるべく、信頼できる外部専門家に個別につなぐ対応を行っています。</p>

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	<p>日本海新聞（21.4.07）にて「大学生の生活実態調査」とともに掲載</p> <p>日本海テレビ（21.4.08）にて「若者と企業を応援する取り組み」として掲載</p> <p>NHK鳥取（21.04.20）にて「コロナ禍を乗り切る企業の攻めの一手」として掲載</p> <p>オンラインリンク：https://www.nhk.or.jp/tottori/irodoriplus/</p> <p>オンラインリンク：https://www.nhk.or.jp/tottori/irodoriplus/details/irp210420.html</p>
広報制作物等	有	<p>YELLFOR Webサイト</p> <p>https://yell-for.studio.site/</p>
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	